



有意義な夏休みを!

新型コロナウイルス感染症対策の臨時休業の影響で授業日となった7月が終わります。これから本格的な夏休みに突入します。例年であれば、部活動の合宿や遠征、久しぶりの友人との再会、国内外への旅行など、それぞれに充実した時間が待っていたはずですが。

しかし皆が分かっているとおり、今年は様相が異なります。ただ、学習には例年と変わらず取り組まなければなりません。8月1日からの17日間は、ある意味「何もない」期間です。起きる時間も寝る時間も遊ぶ時間も、通常より制約がなくなります。だからこそ、君たちの意識が試されます。この期間でどれだけのことのできるのか、「何ができる」17日間であるのかを十分に考えてほしいところです。

1,2年生は、部活動や各自の習い事など、多忙な日々を過ごす者も多いでしょうが、それだけに効率のよい学習を心がけてください。通常と同じ生活リズムで過ごし、コンスタントに学習を心がけてください。自分の「苦手克服」のために、各教科の課題をうまく活用しましょう。ただ終わらせるだけでなく、何度も解き直したり、教え合ったりして苦手を克服していきましょう。

3年生は、言うまでもなく勝負の夏です。8月の模試や特別課外を有効なものにできるよう、準備や復習に注力しましょう。受験科目や配点を確認し、志望校合格には「何」が「どれだけ足りないのか」を把握しましょう。また、自分の「強み」を「どれだけ生かせるか」を意識しましょう。これまでの模試の結果などから自分の得手不得手を再確認して「この夏の重点項目」を設定しましょう。この時期に繰り返される「**夏を制するものは受験を制する**」という言葉は真実です。ただ量をこなすのではなく、確かな戦略をもって学習に取り組み、志望校合格に近づくための夏にしましょう。

また、1日10時間以上の学習時間確保にチャレンジしてみましょう。コツは、まず朝は普段通りに起きて、午前中に3～4時間取り組むことです。昼間に2～4時間勉強し、夜は「いつも通りに」3～4時間学習すると、確実に10時間以上を達成することができます。この夏にしっかり学習に取り組んだ生徒は、秋以降、驚くほど学力を伸ばします。この夏、皆がひとまわり成長してくれることを期待しています。

前期進路検討会

7月13日(月)、14日(火)の2日間、午後から3年生の進路検討会が行われました。進路検討会では、進研プレテストや6月進研マーク模試の結果等を参考にして、生徒それぞれの希望進路や「生徒が希望進路を実現させるためにどのような対策をとればいいのか」ということについて、3年生全員について確認・議論しました。

ただ、今回の検討で全ての方向性が決まったわけではありません。学部学科によって個別学力試験の試験科目や配点が異なることや、受験期の生徒個々の学力の到達度も考慮しなければなりません。「大学入学共通テスト」の結果を受けて、出願先も改めて考える必要が生じる可能性もあります。

現在実施されている三者面談の内容を踏まえた戦略を立てましょう。具体的にどの科目をどのくらい、どの教材を使って学習していけばいいのかを確認し、学習計画を練り直し、進路実現に向けて動きだしましょう。

自分の進路を見つめ直そう

夏休み期間は、自分の進路を見つめ直す機会がたくさんあります。オンライン参加型が多い今年の各大学のオープンキャンパスは、考えようによってはチャンスです。複数の大学の情報を集め、進路に関する視野を広げる機会にしましょう。

2年生は、7月21日(火)に「かごしま“職”の魅力発見プロジェクト」が実施されました。大学等で学び、各分野のスペシャリストになった人たちが、どのような社会貢献をしているのかを知る大切な機会でした。何が自分の将来を決めるか分かりません。今回のプロジェクトをきっかけの1つとして、様々な職への関心を広げ、進路について考えましょう。

1年生は、初めての三者面談が実施されました。進路に関する「質問」ができたでしょうか。学部や学科、職業について、「そのうち考える」ではなく、「分からないこと」が自覚できるようになりましょう。何か手がかりがあれば、先生方もサポートしやすいのです。もちろん進路への意識は、後の文理選択にもつながります。その時になって安易な選択をしないためにも、三者面談で確認したことや自分で調べたことをもとに、将来へ思いを馳せましょう。

夏休み中の学習室等の注意点

以下の期間は学習室が使用できません。

8/13～8/15（学校閉庁のため）

以下の期間は図書室が使用できません。

8/13～8/16（学校閉庁・休日のため）

学習室の利用時間

8:30～16:30

（8/3～8/7は、16:45まで）

自宅、学校、その他の場所で効果的な学習を！

受験は情報戦

昨年度は、鹿児島大学の学部改組について紹介しました。今回は、大学入試改革に関する様々な動きについて確認します。

まず、先日の報道の通り、JAPAN e-Portfolio の運用が停止されます。ただし、「キャリアパスポート」などを用いて、自分の活動の記録を残すことは、後の受験に生きてきます。ボランティア活動や表彰、校外での活動については、後で思い出して記録するのではなく、その都度記録することにしませう。

次に、「大学入学共通テスト」について、2通りの日程と予備日程が公表されました。

(i) 令和3年1月16日、17日

(ii) 令和3年1月30日、31日

※(i)の追試験としても実施。

(iii) 特例追試験 令和3年2月13日、14日

※(ii)の追試験として実施。

2つの日程には、メリットとデメリットが存在します。自分の考え・先生方の考え・二次試験や他の受験との関連も踏まえた判断が必要です。

最後に、「学校推薦型選抜」と「総合型選抜」について説明します。少し前の話になりますが、国立大学協会は、多面的・総合的な評価を含む入試改革を推進するとともに、2021（令和3）年度までに、推薦・AO入試、国際バカロレア入試等を入学定員の3割を目標に拡大することを公表しました。ちなみに、2019年度入試では、国立大学における推薦・AO入試の募集定員が、全体の17.4%を占めています。国立大学協会のプランを踏まえ、56期生は志望大学の入試方法や定員について、情報をしっかりと集めましょう。

学習効率を上げる

効果的な復習には、「レミニセンス効果」が欠かせません。レミニセンス効果とは、情報を記憶した直後よりも、一定時間経ってからのほうがよく思い出せるというものです。詳しくは各自で検索してもらいたいが、**特に効果的に記憶されるのは寝る前に学習した内容である**ことが説明されています。したがって、レミニセンス効果を得るためには、寝る前に余計な情報は頭に入れないようにする必要があります。スマホの使用、特にSNSや通信アプリの使用が学習内容を忘れさせるという科学的なデータもあります。

また、「モチベーション」も大切です。以下に、いくつか方法を示します。

①目に見える形で勉強量を蓄積する。

②競争相手を見つける。

③具体的なイメージを持つ。

①については、グラフを書く、目標達成ごとに貯金する、学習にはボールペンを使用し、空になった芯を捨てずに貯めていく、などの方法があります。

②は、「目標点数●●点」などの数値目標の他に、身の回りの誰かを目標として設定する方法です。

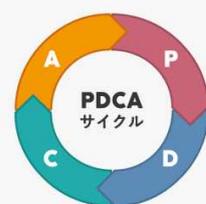
③については、皆さんに配布済みの『進路の手引き』の「合格体験記」を読むことが有効です。成功例も失敗例も、皆さんがまだ経験していないことです。経験していないことを先輩方が教えてくれています。

最後に、「見える化」について。自分の現状や課題、成長している点などを実感することが重要です。ここでは2つの方法を示しますので、どこかのすき間時間で調べ、実行してみてください。

①OODAループ と ②PDCAサイクル



×



大学入学共通テストまであと170日。頑張り3年生！